

STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース

－介護の“Big Wave”を広げよう！－

介護アクションウィーク（5月23日～29日）がスタート！

全日本民医連介護・福祉部では、介護ウェーブ2016方針で「参院選に向けた介護をよくするアクション」（5月～7月）を提起し「学習」、「発信」、「選挙に行こう」の3つのアクションの取り組みをすすめています。



5月19日の担当理事会議で、「介護アクション」のメッセージボードを掲げての写真撮影をしました。7月の参院選に向けて、さらなる介護保険の「改悪」を法案化させないとりくみをすすめていくことを意思統一しました。【42期介護・福祉部に新たに加わった平田理事（山梨／前列左から3番目）と大西理事（香川／後列右から3番目）も一緒にアピール！】

中央社保協 巣鴨駅前 宣伝・署名・介護なんでも相談

5月24日（火）、高齢者の原宿と呼ばれる巣鴨駅前で中央社保協、全労連、医労連、福祉保育労、民医連の5団体による「2016介護ウェーブ」宣伝・署名・介護なんでも相談を行いました。気温が30度近くまで上がった暑い中での行動でしたが、26筆の署名が集まりました。また、介護相談では東京民医連（東京保健生協）のケアマネジャーが参加し、2件の相談が寄せられました。



【お願い】

各地の「介護アクションウィーク」（5月23日～29日）のとりくみを介護ウェーブ推進ニュースで全国へ共有させていただきます。とりくみの写真がありましたら、内容についての記事（400字以内ぐらい）と一緒に事務局までお寄せください。



～ 各地の介護アクションウィークのとりくみ 静岡・千葉 ～

-介護アクションウィーク静岡- 署名宣伝行動

介護アクションウィーク静岡の行動の第1弾として、5月24日の午前中の県連介護福祉委員会終了後、静岡駅地下コンコースにて「社会保障は国の責任です」署名の宣伝署名行動を行いました。5人で45分間ハンドマイク宣伝と宣伝用ティッシュを配りながら署名をお願いし、39筆集まりました。5名全員がハンドマイクを握って訴えました。買い物に来たおばあさんたちがワイワ



イと集まってきて、みんなで署名してくれたり、親が療養型の病院に入院中だからという話や、市外の訪問介護事業所で働いているという女性から、来年から始まる総合事業で要支援の生活援助介が介護保険から外されるようになると事業所が大変です、とそれぞれの思いを署名に託してくれました。

千葉民医連ケアマネジャー研修会で介護アクションウィークをアピール!

5月23日に千葉民医連でケアマネ研修会を開催しました。50名が集まって、「民医連ケアマネジャーの役割について」の講義（全日本民医連ケアマネジメント委員会・加藤久美氏）を受けて、8グループに分かれて、民医連ケアマネジャーに



求められるものやどんなケアマネジャーになりたいか? そのためには何が必要かを議論し、KJ法で模造紙にて報告を作成し、発表しました。人間の身体に例えて、頭(学び)、目(利用者・家族を捉え)、口(コミュニケーション、発信)、手(実務、アセスメント)、足(行政への働きかけ、連携)が必要などと言った発表をするグループや人権が土台・土で、民医連の無差別・平等の大木を育てて行こうなどと言った発表もありました。みんなで共有した後に参加者全員でメッセージボードを掲げて写真撮影をしました。



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：東、吉澤

TEL : 03-5842-6451 / FAX : 03-5842-6460 E-mail : min-kaigo@min-iren.gr.jp